

身も心まで清まる、 尊い神聖な伊賀八幡宮

1



MESSAGE | 推薦文

合掌

四季を通じて素晴らしいですが、7月の始め頃の早朝、蓮の花が咲く頃がおすすめです。まさに地上天国です。日常生活の苦しみや悩みを癒してくれます。心のよりどころとして、後世に国の重要文化財を伝えたいです。天下統一を成し遂げ、泰平の世の礎を築いた徳川家康公を敬うとともに、先祖への報恩感謝の御供養を通して、一人でも多くの人々のお役に立てますように祈らずにはおれません。

LOCATION | アクセス



推薦人：荻野 幸子（健康ヨーガの会）

居住地：井田町

撮影場所：伊賀町

撮影日時：平成27年7月22日午前6時



時空を超える感動の 木漏れ日... 浄瑠璃姫の坂

2



MESSAGE | 推薦文

みなもとのおよしつね じょうるりひめ
源義経と浄瑠璃姫の伝説をご存知ですか？ 岡崎公園ファンなら、はずせない名所の一つがココ！ほんの数十mの短い坂道ですが、とても不思議な気分を味わえます。北は国道1号の喧騒、南は光あふれる公園のグラウンド。両側を石垣に囲まれた空間の中で木漏れ日を浴びていると、時間や空間の隔たりを超越することも可能です。私はここを浄瑠璃姫の坂と呼んでいます。広い岡崎公園の中に皆さんのお気に入りの奥深い魅力ある場所がもっと増えますように…。

LOCATION | アクセス



推薦人：大久保 玉恵
居住地：六名東町
撮影場所：康生町
撮影日時：平成26年8月



岡崎の春の代名詞 - 岡崎公園の桜 -

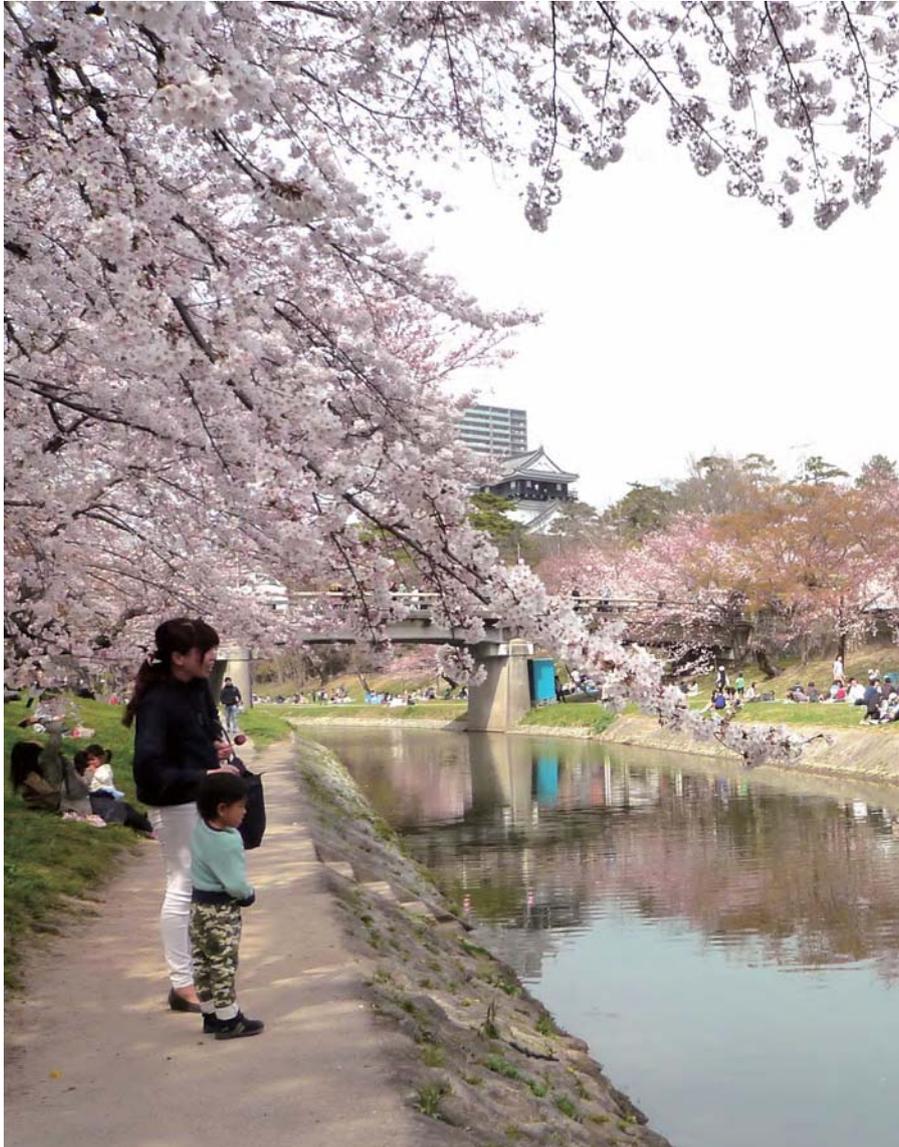
3



MESSAGE | 推薦文

桜が咲くと「春だなあ」と感じる。ソメイヨシノは一斉に咲き誇り、一斉に散り果てる。華やかであり、潔い。岡崎公園の桜は「(日本) さくら名所100選」にも選ばれて、誰もが美しいと感じるだろう。私にとっては生まれてからいつも近くにある公園で、入学、卒業、結婚…と人生の節目の春にも、いつもと同じ様にお花見に出かけた公園だ。私の娘達も毎年屋台のりんごあめを楽しみにしていた。沢山の笑顔の人が集い、楽しい会話が弾む。春は毎年やってくる。

LOCATION | アクセス



推薦人：岡本 志津子
居住地：中岡崎町
撮影場所：康生町
撮影日時：平成27年4月



これからもよろしく！ 岡崎と歴史を刻む殿橋

5



MESSAGE | 推薦文

は
新緑の映えるよく晴れた季節、多くの人々でにぎわった桜まつりも
終わり、これから今年もやってくる岡崎最大イベント、花火大会の前
のこのおだやかな時期、乙川の輝く水面の先には岡崎城、その手前
には今日も多くの人々が行きかう殿橋。昭和初期より90年間、この地
岡崎にかかわる多くの人々の心に刻まれ続けている。お疲れさま！そ
してこれからもよろしく！時代は変わっても昔も今もずっと現役！私
たちの心に刻まれる風景だ。

LOCATION | アクセス



推薦人：カルマンGT
居住地：矢作町
撮影場所：康生通南
撮影日時：平成27年7月午前9時



ふないち

二七市、私のず〜っと残しておきたい「日本の原風景」

11



MESSAGE | 推薦文

旅に出るとそこには、日本の朝市があります。古から綿々めんめんと続いている日本の原風景、私は、朝早く起きて出かけます。飛び交う方言、その土地特有の野菜や果物、漬け物、土産物等、特に相対している店主との会話が楽しみです。こうした原風景を私は、地元めいんに今ある二七の朝市をず〜っと残しておきたいのです。今年60周年を迎えた二七の朝市は、戦後岡崎の商店街の歴史でもあり、今はお爺ちゃん、お婆ちゃんの生活、心の糧でもあります。

LOCATION | アクセス



推薦人：伊藤 巍

居住地：八幡町

撮影場所：八幡町

撮影日時：平成26年12月31日午前9時



子供の頃の思い出 石づくりの六供配水塔！

12



MESSAGE | 推薦文

小学校低学年の頃、岡崎市内を3度転居しました。2度目の転居の場所が六供の配水塔（当時は、浄水場と言っていました）の近くでした。昭和23年（1948）頃だと思います。当時は、周りには何もなくて、見上げると青空に巨大な石づくりの塔がいつも僕を見ていました。浄水場は、中に貯水場があり、周りには白砂に覆われた砂場が広がっていました。石づくりの塔には、蔦が一面にまわりつき、夏は青々と、秋は紅葉し、雄大な円形の塔の姿があります。日本中探してもこんな配水塔はないと思います。

LOCATION | アクセス



推薦人：伊藤 颯

居住地：八幡町

撮影場所：六供町

撮影日時：平成27年11月30日午前11時



葵桜と彼岸花の咲くふる里

13



撮影：大須賀宏子

MESSAGE | 推薦文

2001年1月、21世紀の幕開けを記念して、市民がボランティアで植え育てた岡崎の新しい花の名所です。竜美丘会館裏の乙川堤防に遥か彼方まで続く桜並木は、一年を通して楽しめる市民の憩いの場所となりました。秋にも賑わいと2009年から桜の下に植えた彼岸花、百万本の花で埋め尽くされた光景は乙川の流れと共に圧巻です。市民が力を合わせて創った美しいふる里。誰もが自然に笑顔になれる景観を、いついつまでも大切に守り育てて行って欲しい。



百万本の彼岸花（秋期）

LOCATION | アクセス



推薦人：三橋 美千子（葵桜と彼岸花を育てる会）

居住地：東明大寺町

撮影場所：東明大寺町・大西町

撮影日時：平成26年3月15日午後1時



殿橋下流菅生川
より南西をのぞむ夕景

15



MESSAGE | 推薦文

主人の実家に帰省した時、城下を散策の途中、目の前に広がる美しい景色に思わず涙ぐんだことがあった。殿橋下流^{すごうがわ}菅生川の静かな流れに夕陽が輝く、その先を赤い電車が鉄橋を渡って行った。それから40年の歳を経て、岡崎市民となりその記憶を残しておきたいと思いつつ同じ場所に来ている。肉眼で見る川面の光と夕映えの見事なハーモニーは、長い歳月を経てもまったく変わらない情景で感動を与えてくれた。

LOCATION | アクセス



推薦人：井坂 勝美

居住地：稲熊町

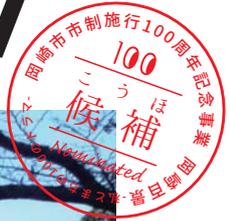
撮影場所：康生町

撮影日時：平成27年10月8日午後5時



想 い 出 の 滝 山 寺

17



MESSAGE | 推薦文

毎年2月の厳冬^{げんとう}の三河路^{みかわじ}に春を呼ぶ鬼祭りは有名ですが、幼い頃慣れ親しんだ滝山寺は小学校入学、即転校^{そかい}と疎開という時期も重なり小学校の帰りに道草をしてよく遊んだ、なんとも言えない思い出として残っております。誰にも故郷^{せいじやく}がある様にわたしの脳裏に焼き付いております。四季を問わず静寂な佇まいは、いつ訪れても幼い頃に帰ります。現在では常磐中学校の生徒さん達でボランティアにより滝山寺境内、石段は掃き清められて昔のままの雄姿を見せております。

LOCATION | アクセス



推 薦 人：中根 郁美
 居 住 地：真伝町
 撮 影 場 所：滝町
 撮 影 日 時：平成27年5月30日午前10時



三河路に春を呼ぶ 滝山寺の鬼祭り

18



MESSAGE | 推薦文

滝山寺は、「滝山寺縁起」によるとえんのおづぬ 役小角のそうそう 草創といいほあん 保安年中
 (1120~22) にひえいざん 比叡山の僧・ぶっせんえいぐ 仏泉永救が再興した天台宗の寺院であ
 る。本堂は県下最古の木造建築です。天下泰平、ごこくほうじょう 五穀豊穰を祈願し勇
 壮ならんぶ たい松の乱舞で天下の奇祭として有名です。旧暦正月七日に近い
 土曜日に行われる。県の無形文化財に指定され多くの参観者でにぎわ
 います。また正面左側には肉付きの面たきさんとうしょうぐう があり右側には
 滝山東照宮まつ が祀られております。未来永劫残したい宝物です。
みらいえいごう

LOCATION | アクセス

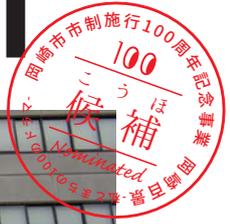


推 薦 人：中根 郁美
 居 住 地：真伝町
 撮 影 場 所：滝町
 撮 影 日 時：平成27年2月21日



夢や希望、楽しさ溢れる 中心市街地 [康生通り]

21



MESSAGE | 推薦文

今でも魅力溢れる^{あふ}ショップが数多く元気に営業している街。街中には1700年代から代々続くお店もあり、歴史あるお店と若きチャレンジャーが経営するお店が混在しております。また、さまざまなイベントも開催されており、人が集まる魅力溢れる場所でもあります。お店を巡る楽しさ、人が集う楽しさ、喜び溢れる街、康生町。魅力ある中心市街地です。

LOCATION | アクセス



推薦人：鈴木 浩
居住地：康生通東
撮影場所：康生町
撮影日時：平成27年11月30日午後4時



伊賀川に今も残る トロッコが走った斜路群

22



MESSAGE | 推薦文

桜の咲く春が一番です。明治中期までの伊賀川は現在の早川と並んで南に流れ、二つの川で板屋町周辺は洪水の常襲地じょうしゅうちだったのです。洪水対策と農地の拡大を目指し、明治末期から大正にかけてトロッコで運んだ土砂を伊賀川右岸に運び込んで堤防が造られ、今の伊賀川りゅうろの流路に付け替えられました。その名残が現在の伊賀川右岸の斜路群です。土木工事用の大きな車も無かった時代の壮大しのな工事を知り偲ぶことができます。



トロッコが走った斜路群

LOCATION | アクセス



推薦人：木村 剛也（OAC〈岡崎アーカイブセンター〉）

居住地：寿町

撮影場所：康生町

撮影日時：平成27年4月2日午後12時



外堀が囲んだ城郭を 想像する甲山からの眺望

23



MESSAGE | 推薦文

かぶとやま
甲山は5世紀の円墳（前方後円墳古墳）で、私達の幼い頃は格好の遊び場でした。繁華街から僅か数百メートルの場所に親水公園の乙川わづや伊賀川、さらに緑の空間がある里山じょうかくまである自然豊かな地域、それが岡崎なのです。この高台からは旧岡崎城郭内に発展してきたまち並みが見渡せ、現在は高層建築が建って城は見えませんが、たゆみなく発展してきたまち並みの歴史に想いを馳せることのできる素敵な、ビスタライン同様に残したい景観です。

LOCATION | アクセス



推薦人：木村 剛也（OAC〈岡崎アーカイブスセンター〉）

居住地：寿町

撮影場所：六供町

撮影日時：平成27年10月10日午前9時



歴史が解るUFJ銀行 から観た康生交差点

24



MESSAGE | 推薦文

春のメインイベントの家康行列を、この高所から観るのも素敵です。さらにここから撮られた数々の写真から、康生交差点周辺の生立ちへんぼう（変貌）を知ることができます。高層建築の少なかった戦前なら、岡崎城が交差点の向こうに見えたことでしょうねっ！



昭和23年(1948)頃の様子

LOCATION | アクセス



推薦人：木村 剛也（OAC〈岡崎アーカイブセンター〉）

居住地：寿町

撮影場所：本町通

撮影日時：平成26年10月4日午後3時



「公園」二文字だけの大きな石碑の謎？

25



MESSAGE | 推薦文補

岡崎城とその空堀の
木々を背景に、苔むした
風情を四季折々に醸し出
しています。大きな自然
石に刻まれた『公園』の
二文字の碑は、我が国の
黎明期の公園だったこと
を訴えているのです。明
治6年“公の園”という
言葉すら無い時代、額田
県から愛知県となって役
目を終えた県庁舎（岡崎
城）は取り壊され、額田
県知事だった本多忠直が
自身の所有地を公園とす
るよう記した書面も残り、
江戸のふるさと岡崎の
宝物であるのは確かです。

LOCATION | アクセス



推薦人：木村 剛也（OAC〈岡崎アーカイブスセンター〉）

居住地：寿町

撮影場所：康生町

撮影日時：平成26年3月15日午前10時



しょうおうじ

松應寺境内の路地

28



MESSAGE | 推薦文

夕暮れ時、路地を駆けまわって遊ぶ子供達。6時のお寺の鐘がなると家に帰る時間。いつまでも遊びたい子供達を近所の人が帰る様に促す。古い家が密接して人々が暮らす境内。外を歩く人の会話、隣の家のラジオの音さえ聞こえる。時に迷惑をかけ合い、そして助け合い近い距離で人々が暮らしを営んできた。そんな境内に暮らす人々の日常から生まれる素朴な景色をこの先も残していきたい。



LOCATION | アクセス



推薦人：杉浦 友美
 居住地：松本町
 撮影場所：松本町
 撮影日時：平成26年8月



瀧見橋より下流の 伊賀川河畔

29



撮影…永井裕憲

MESSAGE | 推薦文

瀧見橋の上に立つと上流と下流の風景が異なるのが知れる。上流は運河の趣を呈し、下流は自然豊かな憩いの風景が広がっている。それはここが岡崎城の外堀と旧岡崎町長の浅井氏が私有地を提供して掘削した人造川が連結した場所だからである。この歴史の事実を地元でも語られることはない。浅井氏の事跡を顕彰し、後世に伝えるためにも、この地を岡崎百景に推薦し、最近とみに増えた伊賀川河川敷の遊歩人を核として有名にしたいと願っている。

LOCATION | アクセス



推薦人：上野 卓
 居住地：元能見町
 撮影場所：福寿町
 撮影日時：平成27年3月10日午前11時



夏の日、能見町あまぎけ屋 ふわふわかき氷

30



MESSAGE | 推薦文

夏、汗だくで店に飛び込む。それがあまぎけ屋。幼い日、たまの贅沢で松本町の銭湯に行くのが楽しみだった。母の懐具合で帰りにはかき氷。その食感が忘れられず、今でも夏になると娘と通う。昭和のままの店内にでんと座ったかき氷機。この刃で削ったかき氷の柔らかさ、軽さは絶品。食べると幼馴染や若かった両親、懐かしい顔が氷の向こうに見える。戦前からの店と夢のようなかき氷250円。いつか娘も子供に話してくれるだろうか。

光るふわふわかき氷。

LOCATION | アクセス



推薦人：ごま吉
 居住地：岩津町
 撮影場所：能見町
 撮影日時：平成27年9月12日午後2時



まちなかのオアシス [籠田公園]

32



MESSAGE | 推薦文

すごうがわ

菅生川から上がったところの、開けたスペースとしてお勧めです。天気の良い日には、青空と甲山をバックに、いい構図になる。公園は、四季を問わず、人が集まり過ごすところ。思い思いに時を過ごす様子は、周囲をマンション群に囲まれ、歩行者が減った街中で、貴重な場面を提供している。時代とともに造りは変わっても、公園の様子に変わりはない。生活スタイルは変われど、籠田公園は、いつも街の中心にある落ち着いた景観です。

LOCATION | アクセス



推 薦 人：天野 光敏
居 住 地：籠田町
撮 影 場 所：籠田町
撮 影 日 時：平成27年6月14日 正午

六供町の鋭角

33



MESSAGE | 推薦文

六供町には細道がある。細道があると鋭角がある。この尖り具合は六供のROCKなのである。戦中に焼けてしまった岡崎において、この細道を後世に残すことは、江戸時代より町民が営んでいた歴史の証明なのである。

LOCATION | アクセス



推薦人：浅井 朋親

居住地：康生通南

撮影場所：六供町

撮影日時：平成27年11月30日午後13時

岡崎の大正池

[小呂池]

34



MESSAGE | 推薦文

大正池を思い起こされる立ち枯れの木々が生えている小呂池。小呂池付近は豊かな自然に恵まれ、岡崎野鳥の会が主催してみえる東公園探鳥会のゴールにもなっております。池の中の立ち枯れの木々・周りの自然を楽しみながら、カワセミやアオゲラ、アカゲラ、ノスリといった猛禽類もうきんるいやトラツグミ、ルリビタキ等々、1年を通じて沢山の野鳥にも出会うことの出来る環境を、次世代にも残して行きたいものだと思います。

LOCATION | アクセス



推薦人：杉浦 仁美（りぶらサポータークラブ）

居住地：若松町

撮影場所：小呂町

撮影日時：平成27年8月12日午後13時

